

くあいっこ



～九合小の子どもとして、自信と誇りをもって行動しよう～

平成30年度のスタートです

今年は暖かくなる時期が少し早くやってきて、残念ながら桜の花は散ってしまいましたが、九合小の校庭には、子どもたちの育てたチューリップやパンジーが、色とりどりの花を咲かせています。お子さんの御入学、御進級、本当におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

新しい学期のスタートへの期待と不安で、胸をわくわくさせて今日の日を待っていたことと思います。お子さんから、学校の様子を是非聞いてみてください。きっと目を輝かせて、お話しすることでしょう。

九合小は、これまで受け継がれてきた古き良き歴史と伝統があります。この学校で学んだことに誇りを感じ、地域を愛し、自信をもって生きていける子どもに育ててほしいと願いを込めて、学校通信を「くあいっこ」としました。

今年度も、学校通信やホームページ等で、子どもたちの様子や学校の情報をお知らせしていきますので、よろしく願いいたします。



くあいっことしてのそむこと

本日の始業式で、子どもたちに3つの話をしました。

- 1 「一つしかない命を大切にしよう」
飛び出しをしない、自転車に乗るときはヘルメットをかぶる、一人で行動しないなど、自分でできることはしっかり守りましょう。
- 2 「相手の気持ちを考えよう」
みんな仲良くして、「学校へ来るのが楽しい」と、誰もが思えるようなクラスを、新しい担任の先生と一緒に、つくってください。
- 3 「毎日一つでもいいから、できることを増やそう」
一年間に学校に来る日数は約200日、「ちりも積もれば山となる」という諺があるように、一日一日少しずつでも努力すれば、大きな力になります。

私達は、子どもたちが帰るときに「今日も学校が楽しかった」と思える学校にしたいと考えています。そのために、職員一同一丸となって、保護者や地域の皆様と力を合わせながら、一人一人を大切にしたい組織的、効果的な指導支援に努めてまいりますので、御理解と御協力をよろしく願いいたします。